

2. 火山の概況

(平成 17 年 1 月 6 日 ~ 平成 17 年 1 月 12 日)

雌阿寒岳、十勝岳及び樽前山では、噴煙の状況に変化はなく、火口の高温状態が続いていたと推定される。

浅間山では噴煙活動が継続し、火映が観測された。火山活動度レベル（以下レベルと記載）は 3。

三宅島では噴煙活動が継続し、多量の火山ガスの放出が続いた。

阿蘇山では熱的な活動のやや活発な状態が続いた。レベルは 2。

霧島山では御鉢の噴気活動がやや活発であった。

口永良部島では地震がやや多く発生した。

諏訪之瀬島では噴火が発生した。

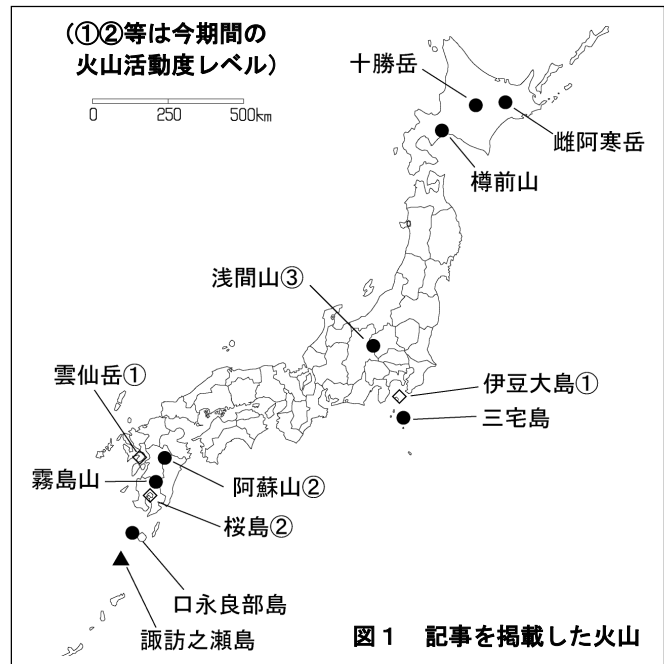


図 1 記事を掲載した火山

表 1 最近 1 か月に記事を掲載した火山

号	対象期間	浅間山		伊豆大島		阿蘇山		雲仙岳		桜島		雌阿寒岳	十勝岳	樽前山	三宅島	霧島山	口永良部島	諏訪之瀬島	
		レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号								
2	1/6-1/12	③	●	①	◇	②	●	①	◇	②	◇	●	●	●	●	●	●	●	▲
1	12/30-1/5	③	●	①	◇	②	●	①	◇	②	◇	●	●	●	●	●	●	●	▲
53	12/23-12/29	③	●	①	◇	②	●	①	◇	②	◇	●	●	●	●	●	●	●	▲
52	12/16-12/22	③	●	①	◇	②	●	①	◇	②	◇	●	●	●	●	●	●	●	▲
51	12/9-12/15	③	▲	①	◇	②	●	①	◇	②	◇	●	●	●	▲	●	●	●	▲

注 1 記号の意味

- ▲：噴火した火山
- ：活動が活発な状態にあるか、もしくは観測データ等に変化があった火山
- ◆：前期間まで▲や●で掲載し、その後の状況等を掲載した火山
- ◇：その他記事を掲載した火山
- ①②等の丸付き数字：火山活動度レベル

注 2 本文の火山名の後ろの[噴煙・噴気・地震・微動・空振・地殻変動・熱・火山ガス等]は、変化があった観測データ項目を示す。

● **雌阿寒岳** [熱]

ポンマチネシリ 96-1 火口の噴煙の状況に変化はなく、高温の状態が続いていたと推定される。

● **十勝岳** [噴煙・熱]

62-2 火口の噴煙活動は活発な状態が続いており、高温の状態が続いていたと推定される。遠望カメラによる噴煙の高さは火口縁上おおむね 300m で推移した。

● **樽前山** [熱]

A 火口および B 噴気孔群の噴煙の状況に変化はなく、高温の状態が続いていたと推定される。

● **浅間山** [噴煙・火映・地震・微動] レベル 3 (山頂火口で小～中噴火の可能性)

今期間、噴火は観測されなかった。

白色噴煙は山頂火口より連続して噴出しており、最高で火口縁上約 300m まで上がった。火映が 6～10 日に山麓の高感度カメラで観測され、6 日には火口の南約 8 km の軽井沢測候所から肉眼でも観測さ

れた。

火山性地震は1日当たり64～129回、火山性微動は同0～6回でいずれもやや多く観測された。

◇ 伊豆大島 レベル1（静穏な火山活動）

地震活動、噴煙活動、地殻変動等の観測データに特段の変化はなかった。

● 三宅島 [噴煙・火山ガス・地震]

白色噴煙は山頂火口より連続して噴出しており、最高で火口縁上約400mまで上がった。

11日に上空から行った火山ガスの観測¹⁾では、二酸化硫黄の放出量は日量3,700～5,800トンで依然として多い状態であった。

火山性地震は9日20～22時に一時的に増加し、9日の日回数は99回であったが、他の日は0～6回と少ない状態であった。

1) 警視庁の協力による。

● 阿蘇山 [微動] レベル2（やや活発な火山活動）

監視カメラにより、8日に、中岳第一火口に湯だまりが確認されたが、湯だまりの色、量、噴湯現象の状況等は不明であった。

噴煙は白色で噴煙の高さの最高は火口縁上約300m（前期間400m）であった。

孤立型微動の発生回数は409回であった（前期間は441回）。継続時間の短い火山性微動が2回発生した（前期間はなし）。

地殻変動等その他の観測データには特段の変化はなかった。

◇ 雲仙岳 レベル1（静穏な火山活動）

地震活動、噴煙活動とも静穏であった。その他の観測データにも特段の変化はなかった。

● 霧島山 [噴気]

御鉢火口の噴気活動はやや活発で、6日及び8～12日に時々噴気が監視カメラで観測され、高さの最高は火口縁上約200mであった。

◇ 桜島 レベル2（比較的静穏な噴火活動）

期間中、噴火はなかった（前期間もなし）。8日、10日及び12日に灰白色の噴煙が観測されたが（最高は8日の火口上約600m）、噴煙活動も比較的低調であった。鹿児島地方気象台（南岳の西南西約11km）で降灰は観測されなかった（前期間もなし）。

● 口永良部島 [地震・微動]

前期間より増加した火山性地震は、日回数に増減があるものの今期間も多い状態が続き、期間中の回数は94回であった（前期間は98回）。また、昨年12月20日頃から発生するようになった火山性微動は、今期間も引き続き継続時間の短いものが時々発生し、期間中の回数は17回であった（前期間は13回）。（図2）

島内に設置した監視カメラによる観測では、新岳及び古岳の噴気活動に変化はなかった。

▲ 諏訪之瀬島 [噴火・微動]

十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、少量の火山灰を含む噴煙が8日及び11日に600m、12日に400m（いずれも火口縁上）まで上がっているのが確認された。期間中、集落（御岳の南南西約4km）で降灰はなかった。

火山性微動は、継続時間の短いものが観測されたが、今期間の回数は8回で前期間（13回）より減少した。連続微動は観測されなかった。

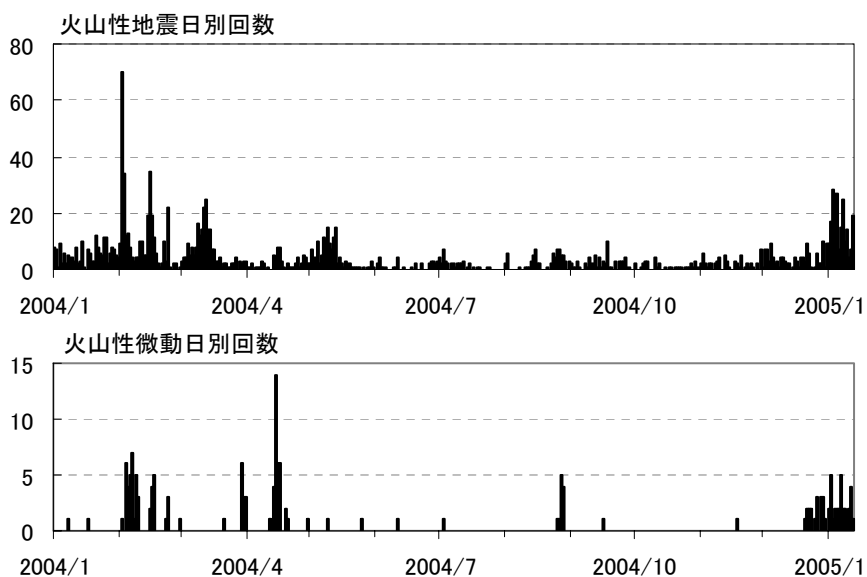


図2 口永良部島 火山性地震及び微動の日別発生回数
(2004年1月1日～2005年1月12日)

表2 火山情報発表状況

火山名	情報の種類及び号数	発表日時	概要
浅間山	火山観測情報第6号 ↓ (1日1回発表) 火山観測情報第12号	6日 16:00 ↓ 12日 16:00	前日及び当日00時～15時の活動状況(噴火はなし、噴煙・火映・鳴動・地震・微動・地殻変動の状況及び上空の風の予想)。レベルは3。
三宅島	火山観測情報第8号 ↓ (1日2回発表) 火山観測情報第21号	6日 09:30 ↓ 12日 16:30	活動経過ほか(噴煙・地震・微動・空振・火山ガス・地殻変動の状況、上空からの観測結果、及び上空の風・火山ガスの移動予想)。
阿蘇山	火山観測情報第1号	7日 11:00	火山活動は引き続きやや活発(噴湯現象あり、地震やや多い)。レベルは2。
口永良部島	火山観測情報第2号	7日 14:00	火山性地震の多い状態継続。